

最近の

お薬事情④



今回は、最近身近になってきた漢方薬について書きたいと思えます。

○漢方胃腸薬、葛根湯、八味地黄丸、多分1つぐらいいは聞いたことがあると思いますが、最近では処方せんで飲まれている方もいるかと思えます。そもそも西洋薬と漢方薬の違いは？

西洋医学は体の具合が悪くなる原因を知ろうとします。その原因を知るために病名をつけます。

たとえば「神経痛」「高血圧」「糖尿病」などといった病名をはっきりさせることで治療が可能であると考えます。一方、漢方は病名で診断する代わりに体全体の状態や症状にしたがって治療を行います。

たとえば「頭が痛い」「吐き気がする」「下痢気味だ」という症状を訴えます。こうした訴えと患者さんの体質や、見たり、聞いたり、触れたりしたことなど総合的にとらえてその証(病気の状態)が決まるのです。それによって処方が選別されてくるのです。

最後に患者さんからよく聞かれる問い合わせを紹介してみます。

【問い合わせ①】 漢方薬は食前・食間服用と書かれていますが、食後の服用では効かないのでしょうか？また、長期間飲まなければ効かないと聞いたのですが、どのくらいの期間ですか。

一般的に薬は空腹時のほうが効き目はよいのですが、胃腸障害を起しやすく食後に服用しています。漢方薬は胃腸障害を起しづらいため、食前に服用します。食前に飲み忘れたりする場合は食後でも問題ありません。また、漢方薬の服用期間は症状や疾患によってさまざまですが、漢方薬だから長期に服用するということはあてはまりません。

【問い合わせ②】 漢方薬は副作用がないと聞きましたので今の症状を漢方薬で治したいのですが。

漢方薬にも一部の生薬には副作用があり、それが含まれていれば副作用が起きる可能性があります。また、その証が間違っていて副作用が起きます。しかし通常その薬を止めれば治るため安全な薬ということはいえるでしょう。

【問い合わせ③】 漢方薬をお湯に溶かして飲んでいますが、どうしても最後にカスが残ります。それも飲まなければいけませんか。

それは薬の形を整えるための賦形剤(でんぷん、乳糖など)人体に無害なもののカスと思われれます。残っていても問題ありませんが、少量の水で30秒ほどおいてからお湯を加えるとよく溶けます。

文 黒磯薬剤師会 澤田麻希